



架け橋

令和2年5月29日（金）発行

校 訓

自主（知） 協調（徳） 壮健（体）

学校教育目標

自ら学びを広げる賢い生徒 （知）

自他を尊重し未来を拓く明るい生徒 （徳）

活力あふれる心身共にたくましい生徒（体）

TEL : 01398(2)3396 Fax : 01398(2)2446

E-mail : kumaishi-jh@town.yakumo.hokkaido.jp

「自己管理のすゝめ」～笑顔～

校長 小林 智晴

4月18日から学校休業になり、本日まで分散登校が8日間のみという、通常通りには学校に通えない日々が続いています。それでも道民の外出自粛等の協力と、ごみ収集や食料品店など人々の生活を支える職業の方々の工夫と努力、そして医療関係者の方々の多大なる貢献や自己犠牲のおかげで、少しずつ新型コロナウイルスの感染者数も減少してきました。

熊石中学校でも、来週から生徒には普通に登校し、授業を受けてもらうことができるようになりました。このまま通常通りに登校できる日々が続いてくれることを願うばかりです。ただ、感染者の広がり方次第では、また休校になってしまう可能性があります。引き続き、感染防止のために手洗い、換気、咳エチケット等を励行し、三密や不要不急の外出を避け、完全にウイルスが終息するまで、協働していければと思います。

昨日までの分散登校の折に、生徒向けの「学校通信特別号」として、「自己管理のすゝめ」を書いてきました。ここまで、「読書」、「規則正しい生活」、「ルーティンをもつこと」、「朝活」、「こだわりをもつ」と、「自己管理のすゝめ」をしてきました。最後は「笑顔」で締めたいと思います。生徒の皆さんが、少しでも元気に前向きに、家庭での時間を過ごしてくれたらと思っています。

報道やネット上のニュースによると、コロナウイルスで地域の人や芸能人が感染したりすると、時に非難する声が、SNSなどで聞かれます。「自粛警察」といわれるような行動で、人権侵害や営業妨害のような犯罪ともいえることをしたり、病院関係者のように自らを犠牲にして他人の健康を支える人に対し、とんでもない偏見や差別をもって誹謗・中傷したりすることは、コロナのせいというよりも、人が困難に直面して、その本性である弱さ、情けなさを露呈しているように思えます。

困難な状況にこそ、「笑顔」で、人を思いやり、助け合う言動に努めたいものです。「笑顔」でいること、時にはそれは難しいかも知れませんが、心まで蝕まれないように、明るく、優しく、人を思いやる、それができると、様々な自分がやりたいことの自粛や生活がおびやかされる恐怖という、この未曾有の困難な状況にも立ち向かっていきやすいですし、「ピンチをチャンスにする」ことが少しでも現実的になるかなと思います。

私たち大人が「笑顔」で（心の中で微笑みを忘れず）、人を思いやり、支え合う行動ができると、子どもたちの心も守ってあげやすくなるのではないのでしょうか。

今後も授業、行事、集まりなどに関して、様々な変更などがあるかと思っています。どうか、地域・保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。ご不明なことなどがございましたら、遠慮なく学校へご一報願います。これからも、熊石中学校の生徒の成長へのご支援・後押しをどうぞ、よろしくお願いいたします。

最後の「生きること 学ぶこと」です。（生徒の皆さん向けです）

〈第5章〉 なぜ学校はできたか -----知識の大切さ----- （前号の続きから）

知識の量はますます増え、新しい発見がつぎつぎと重ねられていく。今日では、全世界の知識を学校で教えることはとてもできない。そこで、人類の知識の基準事項を、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、体育、技術、外国語などの教科にまとめて教わり、集団生活の知恵を自治活動、学級活動などで学んでいく。

つまり、学校での学内容そのものが、人類の知恵の総まとめになっているのである-----といっても、それは社会に出て、そのまますぐ通用するわけではなく、社会に出てから実際の労働のなかで教わるものの方が多はずである。けれども、新聞を読んだり、会社の仕事などで外国の地名がでてきても、「地図」の見方を学んでいなければ、それがどこにあるか見当もつかない。

そういう社会に出てからは教わることのできにくい基礎的なものを学習するために、学校があるのである。学校にも、国民として基礎的知識や技能を教わるための小・中学校、一般教養や専門知識の基礎を教わるための高等学校、高度な学問・技術の基礎を学ぶ大学や、職業教育の学校などができた。

ところが多くの人々が学校に入るようになって、学歴が職業選択や社会的地位を決める基準になったりして、学校が能力競争の場所のようになった。

人間が、文法の規則や数学を説く能力といっしょに生まれてくるとしたら、なまけ者はみんな大喜びであろう。そうなれば人間には学校などいらなくなる。しかし、このことは必ずしも人間にとって好都合ではない。人間の能力も、祖先と同じ水準にとどまってしまう。人間集団の中に学校がなければ何ひとつ知ることができないだろう。

今の学校には、いじめなどにみられるように、学習に集中できないような状況も起きているが、人間にとって学習が暴力や戦争などで妨げられるほど不幸なことはない。それは生きる力をつちかうことと、つながりがあるからである。人間は、教え合い、学び合い、それぞれの世代が人類の共同の倉へ何かを加えていってこそ進化していくのである。

〈おわりに〉 -----わたしたちの課題-----

「なぜ、こんなに勉強しなければならないのか」という問いに始まって、私たちは、人類がサルから分かれて、食物を求め、動物と戦い、寒さを防ぎ、ことばや文字をつくり、仕事や知識を学び継いできた幾千万年もの歩みを語ってきた。随分長い話だと思った人もいるかもしれない。しかし、今日、受験戦争といわれるようななかで、真の勉強の目的がわからず、勉強嫌いになったり、投げ出したり、自殺にまで追いやられている青少年が増えていることを見れば、人間らしく生きること、学ぶことの意味を考えることは、とても大切なことだと思う。

6月の行事予定

1日(月) 全校集会・夏服移行期間(~5日)
3日(水) 1,2年標準学力テスト ALT来校
8日(月) 夏服完全移行
10日(水) ALT来校
12日(金) 生徒総会・全校集会・常任委員会
15日(月) 校長先生と語る会(~19日)

17日(水) ALT来校 職員会議

19日(金) 移動図書

24日(水) 避難訓練

※各種集金は、29日30日の両日に
お願いいたします。

※5月29日現在の予定です。ご了承ください。

